

SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

◎平成 25 年 4 ～ 6 月の運転・利用実績

SPring-8 は 4 月 1 日から 4 月 26 日までセベラルバンチ運転で第 1 サイクルの運転を行い、5 月 7 日から 6 月 1 日までセベラルバンチ運転で第 2 サイクルの運転を実施した。第 1 ～ 2 サイクルでは地震（淡路島地震）による全系加速器の運転停止等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は、第 1 サイクルは約 1.2%、第 2 サイクルは約 0.2% であった。

放射光利用実績（いずれも暫定値）については、実施された共同利用研究の実験数は、第 1 サイクルは合計 217 件、利用研究者は 934 名で、専用施設利用研究の実験数は合計 144 件、利用研究者は 657 名であった。第 2 サイクルは合計 246 件、利用研究者は 1,082 名で、専用施設利用研究の実験数は合計 158 件、利用研究者は 829 名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第 1 サイクル (4/1 (月) ～ 4/26 (金))

第 2 サイクル (5/7 (火) ～ 6/1 (土))

(2) 運転時間の内訳

第 1 サイクル

運転時間総計 約 597 時間

①装置の調整およびマシンスタディ等

約 94 時間

②放射光利用運転時間 約 497 時間

③故障等による down time 約 6 時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)

に対する down time の割合 約 1.2%

第 2 サイクル

運転時間総計 約 600 時間

①装置の調整およびマシンスタディ等

約 96 時間

②放射光利用運転時間 約 503 時間

③故障等による down time 約 1 時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)

に対する down time の割合 約 0.2%

(3) 運転スペック等

第 1 サイクル (セベラルバンチ運転)

・ 1/7 filling + 5 bunches

・ 11/29 filling + 1 bunch

第 2 サイクル (セベラルバンチ運転)

・ 1/7 filling + 5 bunches

・ 11 bunch train × 29

・ 入射は電流値優先モード (2 ～ 3 分毎 (マルチバンチ時) もしくは 20 ～ 40 秒毎 (セベラルバンチ時)) の Top-Up モードで実施。

・ 蓄積電流 8GeV、～ 100mA

(4) 主な down time の原因

・ 地震による全系加速器の運転停止

・ SR RF Dst. サーキュレータアークによるアポート

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第 1 サイクル (4/3 (水) ～ 4/24 (水))

第 2 サイクル (5/9 (木) ～ 6/1 (土))

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 26 本

専用ビームライン 18 本

理研ビームライン 9 本

加速器診断ビームライン 2本

第1サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数	217件
共同利用研究者数	934名
専用施設利用研究実験数	144件
専用施設利用研究者数	657名

第2サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数	246件
共同利用研究者数	1,082名
専用施設利用研究実験数	158件
専用施設利用研究者数	829名

◎平成25年6～7月の運転・利用実績

SPring-8は6月3日から6月29日までセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を行い、6月30日の停止をはさみ、7月1日から7月19日までセベラルバンチ運転で第4サイクルの運転を実施している。第3～4サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

◎今後の予定

7月20日から9月23日まで夏期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。